2023年度　日本留学試験

日本語

（１２５分）

Ⅰ　試験全体に関する注意

1．係員の許可なしに，部屋の外に出ることはできません。

2．この問題冊子を持ち帰ることはできません。

Ⅱ　問題冊子に関する注意

1．試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見ないでください。

2．試験開始の合図があったら，下の欄に，受験番号と名前を，受験票と同じように記入してください。

3．問題は，記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。
それぞれの問題は，以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～31
聴読解	33～47
聴解	49～52

4．各部分の解答は，指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。

5．足りないページがあったら手をあげて知らせてください。

6．問題冊子には，メモなどを書いてもいいです。

Ⅲ　解答用紙に関する注意

1．解答は，解答用紙に鉛筆（ＨＢ）で記入してください。

2．記述の解答は，記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴読解・聴解の問題には，その解答を記入する行の番号 [1]，[2]，[3]，…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。

3．解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※　試験開始の合図があったら，必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*					*						
名　　前														

記述問題

説明

記述問題は，二つのテーマのうち，どちらか一つを選んで，記述の解答用紙に書いてください。

解答用紙のテーマの番号を○で囲んでください。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には，何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち，どちらか一つを選んで 400～500字程度で書いてください（句読点を含む）。

1．

留学の後，留学した国で働く人がいます。一方で，自分が生まれたり育ったりした国や地域で働く人もいます。

留学した国で働くことと，自分が生まれたり育ったりした国や地域で働くことには，それぞれどのようなよい点があるか説明しなさい。そして，働く場所の選び方について，あなたの考えを述べなさい。

2．

私たちは，毎日様々（さまざま）なものを店で買って食べています。それらの食料品（しょくりょうひん）は近くで生産（せいさん）されたものもありますが，外国や遠い地域から運（はこ）ばれてきたものもあります。

近くで生産された食料品と，外国や遠い地域から運ばれてきた食料品には，それぞれどのようなよい点があるか説明しなさい。そして，私たちが買う食料品と生産地の関係について，あなたの考えを述べなさい。

問題冊子の表紙など，記述問題以外のページを書き写していると認められる場合は，０点になります。

――― このページには問題はありません。―――

読解問題

説明

読解問題は，問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢１，２，３，４の中から答えを一つだけ選び，読解の解答欄にマークしてください。

I　下線部「琵琶湖が呼吸困難になっている」の説明として，最も適当なものはどれですか。 1

日本最大の湖，琵琶湖が呼吸困難になっている。

琵琶湖は深いところで水深104メートルある。このような深い湖では，春から秋にかけて湖面近くの水の温度が上がる一方で，湖底近くの水の温度は上がらない。そのため，湖面近くの表層と湖底近くの下層で異なる水の層ができる。表層では，大気からの酸素が水に溶け込んでいるが，下層には，大気の酸素は届かない。湖底に酸素が届かなければ湖底付近の生物は生きられないが，例年，冬になると，表層の水の温度が下がって比重が増し，湖底に沈んで下層の水と混ざり合っていた。「琵琶湖の深呼吸」と呼ばれる現象で，これによって酸素を含んだ水が湖底まで届いていたのである。

しかし，近年は温暖化の影響か，冬に表層の水が十分に冷えなくなった。その結果，湖底に酸素が供給されなくなり，琵琶湖は重い肺炎で体に酸素が行き渡らなくなった患者のようになっている。琵琶湖の呼吸困難である。

（草塩拓郎「琵琶湖が『呼吸不全』」日本経済新聞2020年７月５日　を参考に作成）

1．湖底付近に住む生物が，酸素を含んだ表層に上がってくる。
2．冬に表層の水が十分に沈まず，湖底の酸素が少ないままになっている。
3．温暖化の影響で，湖面近くの水の酸素濃度が低くなっている。
4．湖面に生物が増えたため，湖底に届く酸素が不足している。

II　下線部「一方的な『*矯正』というスタイルが基本になります」とありますが，それはどうしてですか。 **2**

人は常に何らかの常識を持って生きていますが，その自分の持つ常識がどの範囲までの人に共有され，通用するかということについては意識しないのが普通です。…（略）…

仮に教師の側が自分の常識の限界に気づかず，それを相対化できないままである場合には，それとは異質な論理を持つ子どもが現われた時には，単に「逸脱した子ども」としてしか見られなくなります。その場合の対処は，一方的な「矯正」というスタイルが基本になります。ところが子どもは子どもで，それまでの生育環境から自分のやり方が普通で，常識に沿ったものだと感じているわけですから，それを否定されることに戸惑わざるを得ません。

結果的にそのような教師による「善意の矯正」は，子ども自身にとっての自然な感覚に基づいた主体的な価値判断を否定する意味を持ってしまいます。

（山本登志哉『文化とは何か，どこにあるのか』新曜社）

＊矯正：欠点を直し，正しくすること

1．教師が，子どもの生育環境を尊重しているから
2．教師が，自分の常識を客観視できていないから
3．子どもが，親から間違った論理を学んでいるから
4．子どもが，自分の主体的な価値判断に自信がないから

III　筆者によれば，インターネット普及以前のジャーナリズムはどのような状況でしたか。 **3**

従来，「ジャーナリズム」といえば，情報を伝達する「マス・メディア」としての出版社，新聞社，ラジオ局，テレビ局の存在を前提としていた。そうしたマス・メディアの存在があって初めて人々は，「不特定かつ多数の者」に対する情報発信ができたからである。市民団体の発行するビラにどれほど重要な情報が掲載されていたとしても，その情報はマス・メディアに取り上げられて初めて世間一般に対する影響力をもった。

インターネットの普及は，こうしたジャーナリズムと「マス・メディア」との関係を断ち切り，一個人でも「不特定かつ多数の者」への情報発信を可能にしたのである。従来は，影響力のあるマス・メディアは限られた数の報道機関によって支配されていた。このため，限られた数の報道機関が重要と考えない問題，あるいは，それらの報道機関がタブーとした問題は，広く一般大衆に知らされなかった。こうした状況を打ち破る技術的な基礎が，インターネットによって生み出されたのである。

（伊藤高史｜オンライン・ジャーナリズム」
鈴木秀美・山田健太編著『よくわかるメディア法［第２版］』ミネルヴァ書房）

1．一般の人々に何を知らせるかは，少数の報道機関が決めていた。
2．市民団体のビラが世間一般に対して強い影響力をもっていた。
3．ジャーナリズムとマス・メディアとの関係が断ち切られていた。
4．一個人でも不特定かつ多数の者に情報発信が可能であった。

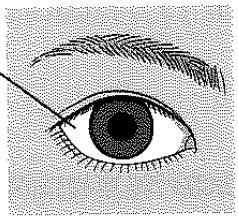
IV　下線部「この心理」とありますが，どんな心理を指していますか。　**4**

ヒトは*白目をもって目立つようにできている。顔から１メートル先でだれかが目を動かせば，それがわずか２ミリメートル以下でもわかる。ちょっとした視線の方向が感情的な意味を伝えてしまう。こどもはお菓子のありかに敏感だ。欲しい物には目だけでなく顔を素直に向ける。だが，大人は心を見透かされまいと目を動かさずに見ようとする。そうした演技もむなしく，そのぎこちなさは相手に素早く察知されるところとなる。本能的に人は相手の目の動きが気になってしょうがないのだ。相手が見ている方向につい目がいってしまう。

この心理を手品師はうまく利用する。その手口は，あるトリックを仕込んでいるとき，観客の目をそらすために，たとえば手品師がジェスチャーを交えて大げさに片方の手のトランプを見る。すると観客はいとも簡単にいっせいにつられてトランプを見てしまう。それも二分の一秒遅れで。そのあいだにマジシャンは別の手で流々と細工する。

（三村芳和『カラダの知恵』中央公論新社）

＊白目：眼球の白い部分



1．心を見透かされないように目を動かさずに相手を見ようとする心理
2．相手の目の動きにつられてその人の目線を追ってしまう心理
3．目の動きの中に相手の感情的な意味を読み取ろうとする心理
4．相手の目の動きに惑わされないように冷静になろうとする心理

Ⅴ　次の文章は，学生に教える立場の人が書いたものです。下線部「説明した内容を最後まで理解できる，ということはまずありません」と述べていますが，筆者はどうしてそのように考えましたか。 **5**

学生に，なにかの理屈について説明するときに，「ここまではわかったみたいだ」という理解度が，表情や言葉などの反応からわかります。説明した内容を最後まで理解できる，ということはまずありません。どうしてかというと，そもそも質問をしてきたから，それに答えているわけですが，質問してきた「知りたいこと」には説明の半分くらいで到達し，そのあとは，「ついでに，これも知っておくと良いよ」という気持ちで，関連する理屈を説明しているのです。

ほとんどの場合，知りたかったことがわかれば，「もう質問の目的は果たせた」と安心するのでしょう，そのあとの話は，なかなか頭に入りません。そう，これが，人間の理解度に特徴的な傾向なのです。

つまり，「わかろうとするから，わかることができる」「知ろうとするから，知ることができる」ということです。途中からは，先生が余分な話をしている，という意識が働き，そう思っただけで，聞いていない状態になります。

「わからなくなるまで話を聞いた」と思うかもしれませんが，そうではなく，「わかりたいところまでしか聞かない」のです。

（森博嗣『森心地の日々』講談社）

1．筆者が，学生に一度に多くの分量を教えてしまうから
2．筆者が，学生の反応を確かめずに説明を進めてしまうから
3．学生が，知りたいことがわかった時点で筆者の話に集中しなくなるから
4．学生に，筆者の説明をすべて理解するために必要な基礎知識がないから

VI　次の文章は，「数学は役に立つのか」という問いに対して書かれています。筆者が最も言いたいことはどれですか。 **6**

この手の疑問に対して，これまでにも「数学は今すぐには役に立たなくても，ずっと先の未来にはきっと役に立つのだ」とか「役に立つ・立たないという問題を超えたところに，数学の真の価値があるのだ」とか，いろいろな回答がなされてきました。私自身はというと，これらの一般的な回答に，もちろんある程度は賛成できますが，同時に，現在の科学や技術の状況を踏まえると，ちょっとした違和感を感じてもいます。そんな私の回答を簡潔に述べると，次のようになると思います。

> これほど価値が多様化し，数学の「使われ方」も多様化してしまった現代にあっては，もはやどんな数学でも，それが「役に立つ」のは当たり前だとしか言いようがないし，それを疑うのはもはや無意味になってきている。

これは私の個人的な見解ではありますが，数学となんらかの形で関わる，あるいは関わらざるを得ない多くの人々にとって，ある程度共通の認識であるように思われます。

（加藤文元『宇宙と宇宙をつなぐ数学　IUT理論の衝撃』KADOKAWA）

1．数学の価値は，役に立つか立たないかで評価されるものだ。
2．数学は，現在は役に立っていなくても将来必ず役に立つものだ。
3．数学は，価値が多様化してしまった現代においては役に立たない。
4．数学が，現在の科学や技術の役に立つことは言うまでもない。

VII　次の文章の内容と合っているものはどれですか。　**7**

われわれは普段生活している中で多くの「問題」を抱えている。起床して何を食べるかも問題であり，通勤・通学の駅までの歩道が狭くて危険なのも，職場や学校までの電車が混雑しているのも大変な問題である。

朝食の内容はもちろん個人で対応すべき問題である。しかし，歩道の狭さや電車の混雑はどうだろうか。個人で対応するのはなかなか難しい。社会で解決すべき問題として認識され，その対応策が公共政策として検討される。

もっとも，個人で解決すべき（と認識される）問題もそれが常に「私的な」問題とされるわけではない。例えば子供が掛け算をなかなか覚えられない問題は，通常は個人や家庭の私的な問題として扱われる。しかし，多くの子供の計算能力の低下が学力調査等で判明すると，昨日まで私的な問題とされてきたものが突如「公共的な」問題とされる。そして，政府において対策が検討され始める。

（秋吉貴雄『入門　公共政策学』中央公論新社）

1．公共的な問題は，個人個人の協力によって解決されるべきである。
2．個人や家庭の私的な問題に，政府は関与するべきではない。
3．公共的な問題が解決しても，私的な問題の解決にはならない。
4．私的だと認識されていた問題も，多くの人が抱えると公共的な問題になる。

VIII　次の文章で，筆者は，作家の価値を高めるのは何だと述べていますか。　8

マンガの絵は，*えてして記号化され単純化されているため，模写が容易です。子供たちでも上手にアンパンマンやドラえもんを描けるし，また描けるような**キャラクターでなければ子供たちの支持は得られないでしょう。

では誰(だれ)でもその作家の絵を真似(まね)すればその作品世界に近づけるかといえば，それはそうではありません。なにかとらえようもない，どこがそうとは明確に言えない，けれどかもしだされているその人らしさ。そういうものが強ければ強いほど，その作家は代替のきかない作家として価値を高めるでしょう。

（しりあがり寿『表現したい人のためのマンガ入門』講談社）

＊えてして：そのようになる傾向があること。たいてい

＊＊キャラクター：小説・漫画・映画などの登場人物

1．絵が簡単で，子供にも理解できること
2．作品に，他にはない個性があること
3．作品のキャラクターが，子供に支持されること
4．作品のキャラクターを，誰(だれ)もが知っていること

IX　次の文章で，筆者は，「観察」とはどのようなことだと言っていますか。　9

観察は，観測とはちがう。最近は技術の進歩によって，何でもいいものが出来てきた。カメラをはじめ，微気象を観測する機械にしても，時計でも，何でも，即座にその時の気温，湿度，標高などを出してくれる。そして，数字は，明白に一つの事実を示してくれる。それを見て，ああ今日は暖かいとか，何メートルまで登ったとかいって，人は納得し，満足する。

ところが，こういった観測は，いざ，という時，つまり全く裸になってしまうと何の役にも立たない。むしろ，じっくりとモノを見つめることによって，目の奥に焼き付いた事実を通しての反応（はんのう）のみが生きてくる。…（略）…

観察するというのは，自分の心を観察の対象物にうつして一緒に考え行動することに通ずる。どうして，この虫は，あの木へ移ったのか，何故，もっと別の花に行かないのか，あるいは人間の場合は，どうして，あの人はあんな行動をとったのか，ということを，じっくりと観察することによって洞察する。そうすると，その対象物への理解は，少しずつ広がり，やがて，小さな虫の世界が，一つのまとまりとなって生きてくる。

（山田勇「フィールドワークとは」
山田勇編『フィールドワーク最前線――見る・聞く・歩く――』弘文堂）

1．正確で詳細なデータを集めること
2．対象物の視点にたって行動を理解すること
3．直感に基づいて判断をくだすこと
4．対象物をビデオなどに録画して記録すること

X　次のお知らせの内容と合っているものはどれですか。　**10**

駒場大学 理工学研究所 講演会

人工知能（AI）の発達とこれからの私たちの生活

人工知能の発達によって私たちの生活は大きく変わろうとしています。
今，私たちが知っておくべきこと，将来の活用方法などを皆さんと考えていきたいと思います。

日　時：8月19日　13：00～15：30
会　場：駒場大学　大山キャンパス　3号館205教室
対　象：本学学生／本学教職員，他大学学生／他大学教職員
参加費：500円　当日受付にてお支払いください。
※ただし，本学学生／本学教職員は無料
定　員：100名　※定員になり次第受付を終了させていただきます。
申し込み：下記のウェブサイト，またはお電話での事前予約をお願いします。
予約人数が定員に満たない場合は，当日参加も可能です。
http://komaba.××.××　TEL：03-××××-××××

1．事前に予約をしていない人も参加できる場合がある。
2．インターネットでしか事前申し込みはできない。
3．人工知能が専門でも他大学の学生は参加できない。
4．予約をした人は，事前に料金を振り込む必要がある。

このページには問題はありません。
次のページに進んでください。

XI　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

ホームセンターには，必ずと言っていいほどDIY（Do It Yourself）コーナーが配置され，お洒落な工具や園芸用品などが置かれている。DIYとは日曜大工や家庭園芸などに代表されるように専門家に任せず自分自身の手で身の回りのものをつくることや，補修などを行う活動のことである。…（略）…

DIYが次第に拡大しているのは，ものをつくるプロセスや手応えが楽しいこと，最終的にオリジナルなものができることにあると考えられる。また自宅のちょっとした隙間に配置する家具を必要とする場合，既製品では適当なサイズやデザインが見当たらなくても，DIYによって満足のいくものをつくり出すことができる。自分自身にオーダーをして自分にふさわしいものをつくることができるのである。

自分でつくり出すわけであるから，DIYの作品については少々の傷や失敗も気にならず，使い込むことで次第に愛着が増していくことも多い。DIYに取り組む過程では時としてミスはあるかも知れないが，楽しく取り組むことで失敗作にはならない。DIYに関わらなかった第三者から見れば既製品のように見栄えが良くなくても，製作者自身が納得するものであれば，それは立派な成功作である。すなわち関わっている人の評価がもっとも重要なものとなる。

既存のものではなく，オリジナルなものを持ちたい人たち，ものをつくるプロセスを楽しみたい人たち，ものをつくり上げることで達成感を得ることを期待する人たちなど，様々な動機でDIYを行う人たちが増えている。

（土井勉「まちづくりとDIY（Do It Yourself）」
土井勉他『まちづくりDIY　愉しく！続ける！コツ』学芸出版社）

問１　DIYが拡大している理由として，筆者が挙げているものはどれですか。 **11**

１．既製品のようにきれいなものがつくれるから
２．今はホームセンターで，お洒落（しゃれ）で便利な道具が安く買えるから
３．自分独自のものがつくれ，ものづくりの過程に喜びが感じられるから
４．身の回りのものがどのようにつくられているか，わかるから

問２　下線部「失敗作にはならない」とありますが，その理由として，最も適当なものはどれですか。 **12**

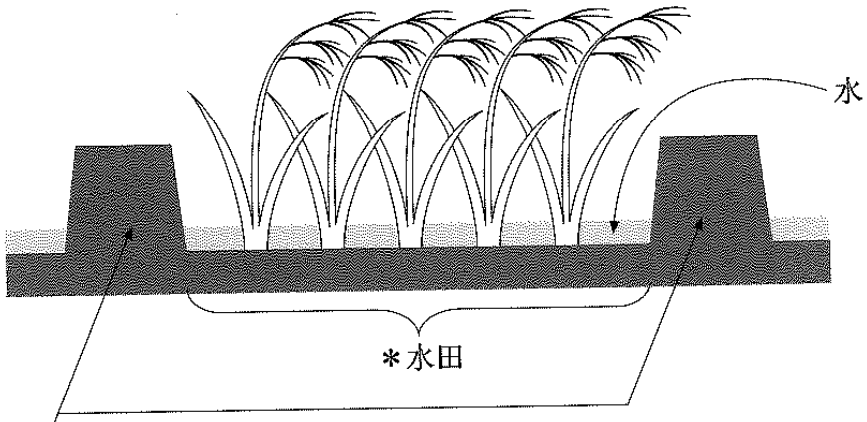
１．つくった本人が満足すれば成功と言えるから
２．手先が器用な人だけがつくるから
３．途中で失敗をしても完成までに修復できるから
４．専門家の指導を受けてから行うものだから

XII　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

畑の土は，養分をどのくらい含んでいるかだけではなく，水との相性も重要である。水がたまりやすい土だと，作物の根がいたんでしまう。また，粘土のような性質の土は，水を含むとねばねばし，乾くと石のように固くなってしまい，畑には向いていない。しかし，稲を作る*水田では，水をためることができればよいので，これらに関してはあまり問題にならない。粘土質の土でも，水をためると耕すことができるようになり，稲の苗を植えることができる。

さらに，水田では，土の養分が失われる恐れがない。台地や山の斜面にある畑では，養分のある上層の土が雨で流されたり，強い風で飛ばされたりしてしまう危険性が高い。リン酸やカリといった植物の養分になる要素は上層の土に多く含まれているので，天候によって上層の土が失われると，貧しい下層の土だけになってしまう場合がある。しかし水田は周囲を**畔（あぜ）で囲み，表面に水をはっているので，土が流されたり，風で飛ばされたりする心配が少ない。むしろ，低い場所に作られることが多い水田は，他の場所の豊かな表土が流されてきてたまり，養分が増えることもあるのである。

（久馬一剛『土とは何だろうか？』京都大学学術出版会　を参考に作成）



＊＊畔：土を盛って作られた，水田の境

問１　第１段落で述べられている，畑と比較した場合の水田の特徴として，最も適当なものはどれですか。 **13**

１．気候のよくない土地でも作物が作れること
２．養分が少ない土でも作物が作れること
３．どのような性質の水でも問題がないこと
４．畑では使えないような土でも使えること

問２　筆者は，水田の土の養分が，畑に比べて失われにくいのはなぜだと述べていますか。 **14**

１．水田は土が流出しにくく，外から流入することもあるから
２．水田では，上層の土の養分が下層までいきやすいから
３．水田は，養分を含んだ雨水をためることができるから
４．水田は，風や雨が少ないところに作られているから

XIII　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

現在の情報社会では，通信の安全性を確保するために暗号技術が使われています。たとえば，スマホの通信は無線で空中を飛んでいくわけですが，それが何者かに*傍受(ぼうじゅ)されても通信内容が漏れたりしないように，必ず暗号化がされています。

暗号は推理小説などにも出てきますが，そこでの暗号は，すこぶる賢い人（たとえば怪盗ナントカ）が巧妙に情報を隠し，特別な知力をもった人（たとえば探偵ダレソレ）だけがその情報を得ることができます。でも現実の世界では，特別な人でなくてもスマホの通信は暗号化したいし，自分に送られてきた暗号化メールは読みたい。そこで，現在使われている暗号は，特別な能力が無くても誰にでも暗号が使えるように作られています。

誰でも使える暗号を作るために使われているのは，主に，整数論と呼ばれる数学です。そして，その〈暗号を作るために使われている数学〉は，暗号だけでなく，他のいろいろな「ネット上での困りごと」の解決に使えることが分かっています。たとえば，メールの内容なんて他人に見られても構わないよ，という人であっても，友だちからメールで知らされた待ち合わせ場所が，メールの伝送中に書き換えられていたら困りますね。そこで，伝送中に内容が書き換えられていないかをチェックする仕組みが使われています。これは「メッセージ認証」と呼ばれ，メールの後ろに短い確認用コードを付加することで実現します。

（尾形わかは「今日も楽しく暗号研究しています！」
伊藤由佳理編著『研究するって面白い！』岩波書店）

＊傍受：本来の通信相手ではない者が無線を受信すること

問１　下線部「安全性」の意味として，最も適当なものはどれですか。 **15**

1．通信機器が人体に与える悪影響が最小限になること
2．時間と場所を問わずに通信できるようになっていること
3．不正な行為をした人を処罰する法制度があること
4．伝えたい情報が伝えたい相手にだけ伝えられること

問２　この文章の内容と合っているものはどれですか。 **16**

1．今日，多くの人が暗号を解く能力を身につけられるようになった。
2．現在では，通信のためのさまざまな技術に数学が用いられている。
3．第三者がメールの内容を変更しても，受信者は元の内容を復元できる。
4．通信の暗号化は，メールが使われるようになってから始まった。

XIV　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

日本人は*議論ベタだと言われていますが，慣れの問題以前に，「絶対正しい意見（正解）」を言わなければならないという思い込みが強いのではないでしょうか。正解を言おうとすると，自分の意見に大きな自信がある人間以外は，とたんに何も言えなくなってしまいます。

でも実際は，何が正しいかなんてよくわからないんです。

教科書に出てくるような科学理論ですら，実は学会でいろいろと議論した結果，ある人（もしくは学派）が勝利して，とりあえず正しいということにしておこう，といった話であって，正解ではなく現状の最善解にすぎません。

定説ではなくあくまで仮説なので，より優れた仮説が出てくれば，あっという間に覆（くつがえ）ります（天動説しかり，ニュートン力学しかり）。

（　A　），科学の世界ですら，客観的に正しい真理なんてないわけです。

これは，私たちが生きている社会でも同じことです。

政治・行政みたいな大きな話から，会議を開いてビジネスの方向性を決めていこうといったビジネスの話，そして，夫婦で「持ち家を買うか，賃貸のままでいくか」を考えたり，ひとりで自分はこれからどうやって生きていこうかと悩んだりするような日常的な話まで，最初から正解なんてものはありません。

でも，正解がないからといって，何も考えないわけにはいかない。なんらかの「結論」を出さなければなりません。

そのときに必要になってくるのが議論です。

議論によって意識的に違う視点，複数の視点を持ち込み，ぶつけ合うことで，「いまの最善解」を出すことができるようになるのです。

（瀧本哲史『武器としての決断思考』星海社）

＊議論ベタ：議論が下手だということ

問1　（　A　）に入るものとして，最も適当なものはどれですか。　17

1．もちろん
2．しかし
3．つまり
4．さらにいえば

問2　筆者は，議論で最も重要なことは何だと言っていますか。　18

1．現状で考えうる，一番よい方法を見つけること
2．正解を裏付ける説得力を身につけること
3．客観的視点に立って答えを導き出すこと
4．他人の意見に振り回されず，自分の意見を持つこと

XV　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

夕食後の夫婦の会話です。

妻「コーヒー飲む？」
夫「明日ね，出張で朝が早いんだ。」

妻は夫に，コーヒーを飲むかどうかを尋ねるイエス・ノー疑問文を発しています。でも，夫は，飲む（イエス）とも，飲まない（ノー）とも言っていません。それでも妻は，夫はコーヒーを飲まないのだ（ノー）と理解するでしょう。そうすると，「明日，出張で朝が早い」という発言に，「（　A　）」という「*含意」があったことになります。どうも私達には「コミュニケーション＝言葉」と考える癖があって，相手に伝えたいことは当然言葉で表現していると思い込むところがあります。でも日常会話では，相手に伝えたいことの一部分しか言葉にせず，意図を含意として遠回しに伝えることが大変多いのです。

…（略）…

「明日」や「出張」「朝」「早い」の意味に「コーヒー」や「飲まない」の意味は含まれていないでしょうから，言葉の意味は話し手の意図を理解するためのきっかけだと考えるしかありません。ここで確かなことは，私達が話し手の意図を推測するときに，前後関係や，その場の状況を手がかりにしていることです。この前後関係・状況のことを文脈と呼びます。

同じ言葉でも，文脈が違うと，違った意図が伝達されます。「明日は出張で朝が早い」も，「明日，午前中に荷物が来るから，受け取ってくれる？」に対する返答なら「受け取れない」の意思表示になるでしょう。…（略）… つまり，言葉と話し手の意図は一対一に結びついていないのです。

（時本真吾『あいまいな会話はなぜ成立するのか』岩波書店）

＊含意：表面的には見えないような別の意味あいをもたせること

問1　（　A　）に入るものとして，最も適当なものはどれですか。 19

1．コーヒーは明日飲む
2．コーヒーは好きじゃない
3．コーヒーはもう飲んだ
4．コーヒーは飲まない

問2　この文章の内容に合っているものとして，最も適当なものはどれですか。 20

1．夫婦でも，相手の会話の意図を簡単に理解することは難しい。
2．伝えたいことは，言葉で表現しないと相手に伝わらない。
3．言葉によってどんな意図が伝達されるかは文脈によって変わる。
4．自分が伝えたいことは遠回しに言ったほうが丁寧な表現になる。

XVI　次の文章は，教育学の研究者である筆者が，教育実践現場をビデオによって記録することについて書いたものです。読んで後の問いに答えなさい。

私たちは教育実践を観察するとき，「ここはちょっと気になる」「あれ，この発言って何だろう」「この子どもはおもしろいことをしているな」，など見えてくるものを切り取って見ている。その場で起きていることは他にたくさんあっても，焦点化して出来事として見えていることと見えていないことがある。

筆者は学生のころから，教育実践をビデオによって観察記録してきた。このとき筆者が記録をした目的は，保育者が対応に悩んでいたある子どもが*園にどのように参加しているのかを明らかにするためであった。しかしビデオ観察をはじめたばかりのころは何をどう撮れば，目的に合う撮りかたになるのかよくわからず，また，どの場面が重要だ，あるいは重要になりそうだということもわからないため，ある子どもとその子どもに関係する周りの子どもたちを視野に入れ，録画を切ることなくビデオを回しつづけた。このような撮りかたは，いま考えてみれば，観察中にその場で重要な「場面」とそう発展する可能性の少ないと思われる「場面」を判断するだけの読み取りもできないために，できるかぎり録画をしつづけておき，あとから分析をして「重要な場面」を探りあてる撮りかただった。

このようなビデオ記録は記録後，見なおすだけでも大変な労力がかかった。実践の観察を週に一度二時間程度行うのだが，そこで何が起きていたのかもう一度見なおして把握するためには，録画時間と同じく二時間以上見なおすことになる。ようやく，ここが重要だと見えてきたあとは，何度も巻き戻してその場面を見なおす。子どもと保育者とのやりとり，子ども同士のやりとりの詳しい解明のためには，数秒ごとにテープを止めて行為を文字化することもある。小さな子どもの場合，ことばが明瞭（めいりょう）でなく聞きとれないことも多い。ことばだけを拾っていては何が起きているのかわからないので，非言語的な行為も含めて文字にして記録化する。そのため作業は困難を極める。このようなビデオによる分析作業を繰りかえし，**実践者の方たちに結果を報告するまでに，録画時間の約10倍の時間がかかるという状況であった。

（刑部育子「３章　リフレクションのためのビデオ・ツール　CAVSceneの開発をとおして」佐伯胖他『ビデオによるリフレクション入門　実践の多義創発性を拓く』東京大学出版会）

＊園：ここでは，幼稚園（満３歳から小学校入学までの幼児のための教育機関）

＊＊実践者：ここでは，教育活動を実際に行っている人

問１　筆者が学生時代に行ったビデオの撮りかたの特徴として，最も適当なものはどれですか。 **21**

1．重要な場面だけを絞って撮る撮りかた
2．注目した子どもが行動を起こしたときだけ撮る撮りかた
3．その場で起きたことすべてを撮っておく撮りかた
4．後に重要になりそうな場面だけを選んで撮る撮りかた

問２　筆者によるビデオ記録の問題点として，最も適当なものはどれですか。 **22**

1．記録を分析して観察者が実践者に話すまでに時間がかかりすぎること
2．長い時間をかけて作った記録が色あせて見られなくなってしまうこと
3．実践者が忙しくて実践者と観察者で記録を共有する機会がとれないこと
4．観察者が役に立たない情報ばかりを記録して実践者に伝えてしまうこと

XVII　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

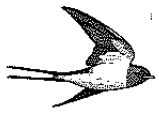
*ツバメのように頭が小さい鳥は，音のやってくる方向を捉えるのがあまり得意ではないことも知られています。**フクロウのように頭が大きく，両耳が離れていれば，耳に到達する音の大きさや音の到達時間の差を利用して音源方向を特定できるのですが，右耳と左耳の位置が近い小鳥には，これが利用できません …（略）…。

実際に鳥の行動を調べると，フクロウの仲間は例外的に音源探知に優れていて，角度としてだいたい３度くらいの幅で正確に感知できますが，一般的な小鳥はせいぜい20度ぐらいの幅でしか音の方向を知覚できないようです。このため，音源から10m離れると横幅３mぐらいの範囲のどこかで音がしているぐらいにしか分からなくなってしまいます。…（略）…

小鳥の音源定位能力の低さに驚いた方もいることでしょう。「これでは，どこで誰が鳴いているかも分からないじゃないか」と思った方もいるかもしれません。この精度ではたとえば求愛のためにオスが自分の巣からメスを呼んでも，道路の反対側にいるメスはオスがどこで呼んでいるかよく分からないということになります。当然，メスがあきらめてどこかへ飛び去ってしまえば，求愛は失敗です。

ここまで聞いて，「そんな聴覚でやっていけるのか」と心配される方もいると思いますが，実際のところ心配は無用です。１回のさえずりで位置が分からなくとも，鳥類は音声を何度も繰り返して使うため，これらの音声を比較することで，音の方向を知ることができます。ツバメもオスが同じ場所で何度も繰り返しさえずりますが，さえずりが繰り返されている間にメスが移動して聞こえ方の変化を感じ取ることで，オスの位置が分かります。これで無事にオスの場所を突き止め，（メスが望めば）次の求愛段階に進むことができます。単にありあまるエネルギーを発散するためにやたらめったら鳴いているように思われがちですが，さえずりが繰り返されること自体が効果的なコミュニケーションにつながっているようです。

（長谷川克『ツバメのせかい』緑書房）

＊ツバメ 

＊＊フクロウ

問１　フクロウについて，この文章で述べられていることはどれですか。 **23**

1．小鳥より音源の方向がよくわかる。
2．左右の耳で違う音を聞き分けられる。
3．二羽の違うメスの声を聞き分けられる。
4．オスが移動しながらさえずりを繰り返す。

問２　下線部「よく分からない」とありますが，この場合，メスはどうなりますか。 **24**

1．エザを見つけられない。
2．繁殖相手を見つけにくい。
3．自分の巣に帰れない。
4．敵から逃げられない。

問３　筆者は，ツバメのオスが繰り返して鳴くことについて，何と述べていますか。 **25**

1．鳴き声が小さいという欠点を補っている。
2．仲間に危険が迫っていることを知らせている。
3．余っているエネルギーを発散させている。
4．メスが見つけやすいように何度も鳴いている。

――― このページには問題はありません。―――

聴読解問題

説明

聴読解問題は，問題冊子に書かれていることを見ながら，音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に，「ポーン」という音が流れます。これは，「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後，「ポーン」という，最初の音より少し低い音が流れます。これは，「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

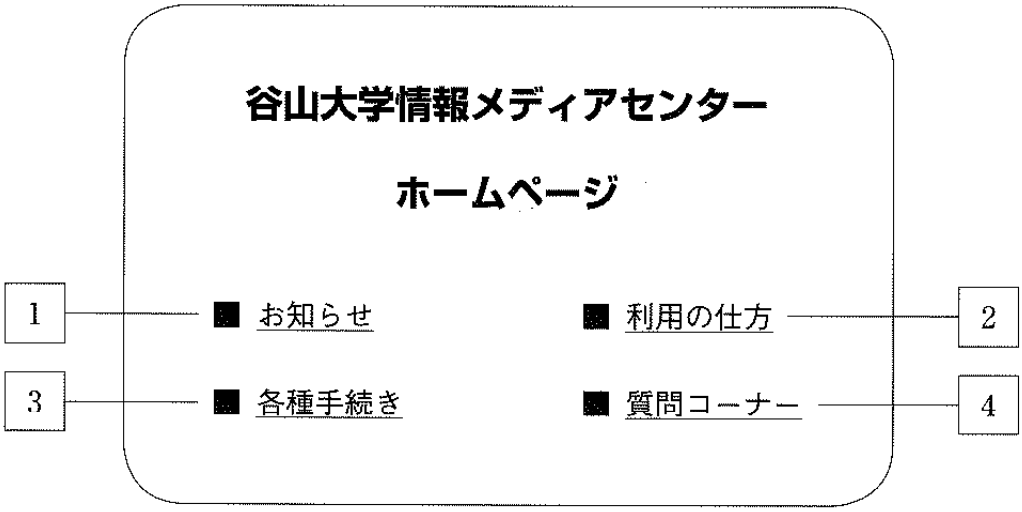
選択肢１，２，３，４の中から答えを一つだけ選び，聴読解の解答欄にマークしてください。

１番の前に，一度，練習をします。

聴読解問題

練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今，画面のどの項目を選べばいいですか。



1番

先生が，公衆衛生学の授業で，設備の殺菌方法について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。 1

各素材と殺菌剤の適性

素材	殺菌剤		
	A エタノール（中性）	B エタノール（弱酸性）	C 次亜塩素酸ナトリウム
ステンレス	○	○	△
アルミニウム	○	△	△
銅	○	×	△
ポリエチレン	○	○	○
アクリル樹脂	×	×	△
天然ゴム	○	○	×

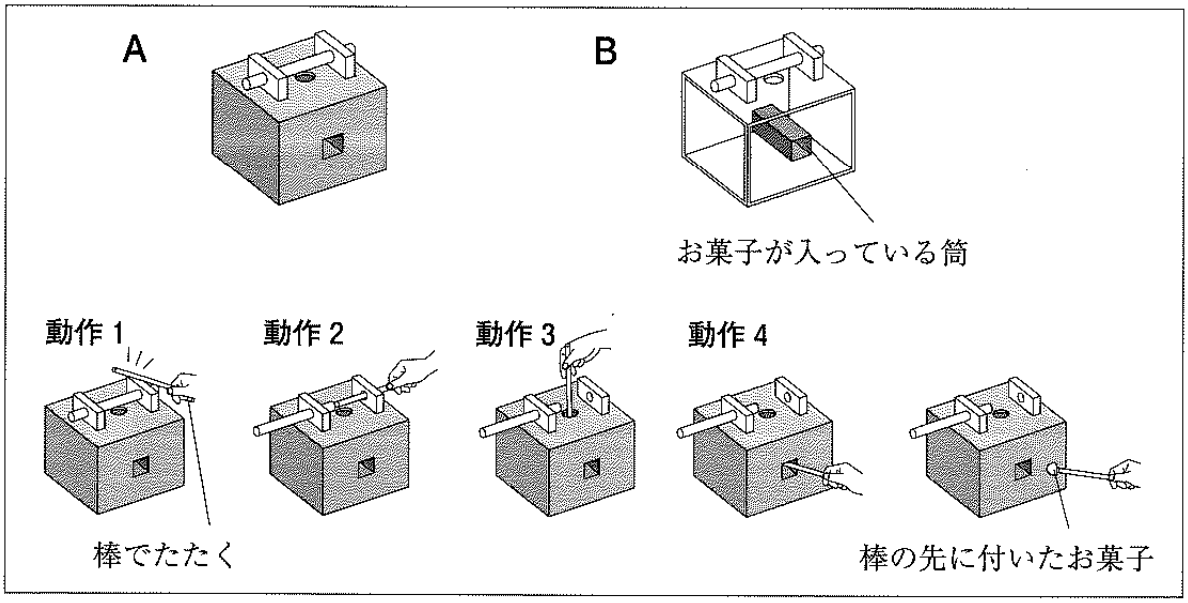
○：使用可
△：条件によって使用可
×：使用不可

（「８章　殺菌剤とはどんなもの？」新名史典編著　隈下祐一他著
『最新版　ビジュアル図解　洗浄と殺菌のはなし』同文舘出版　を参考に作成）

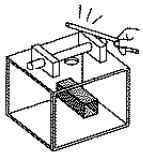
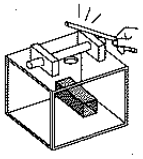
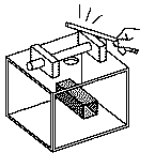
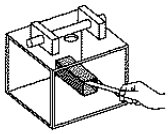
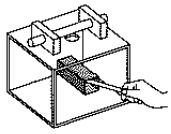
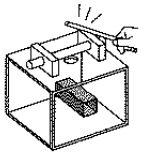
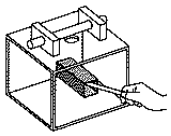
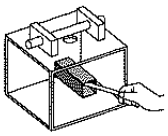
1．Aのみ
2．AとB
3．BとC
4．Cのみ

2番

先生が授業で，人間の子どもとチンパンジーを対象にした実験について話しています。透明な箱Bを用いた実験で，人間の子どもとチンパンジーがそれぞれ最初に行った動作はどれですか。 **2**



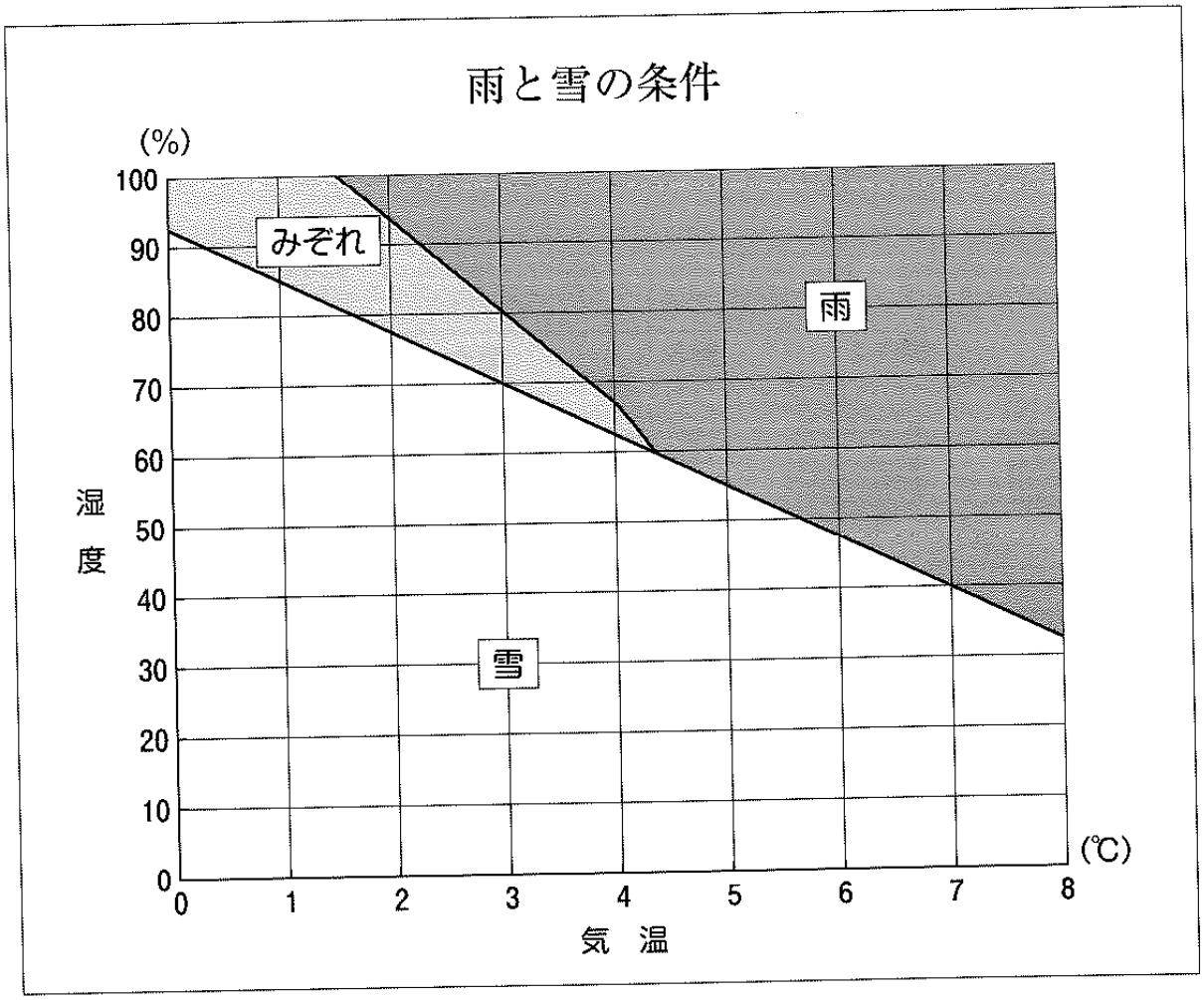
（石川幹人『人はなぜだまされるのか』講談社　を参考に作成）

	人間の子ども	チンパンジー
1.	 動作 1	 動作 1
2.	 動作 1	 動作 4
3.	 動作 4	 動作 1
4.	 動作 4	 動作 4

3番

気象学の授業で，先生が図を見ながら話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

3

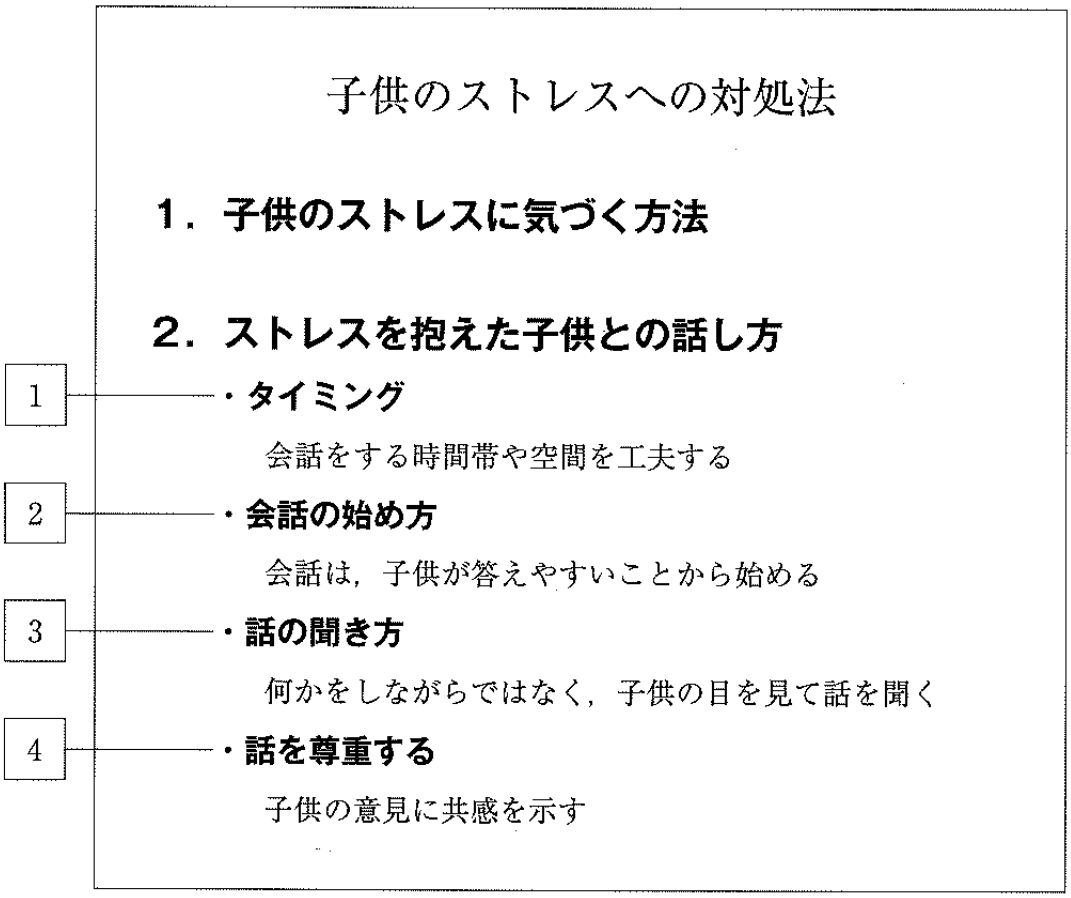


(尾張一宮お天気センター「雨と雪の境目（雨雪判別表）」
http://ngy.sakura.ne.jp/kisyo/sakai.html　を参考に作成)

1．午後９時：雪　　午後11時：雪
2．午後９時：雨　　午後11時：雪
3．午後９時：みぞれ　　午後11時：雪
4．午後９時：雨　　午後11時：みぞれ

4番

児童心理学の先生が，子供のストレスへの対処の仕方について説明しています。この先生が特に重要だと言っているのは，資料のどの部分ですか。 4

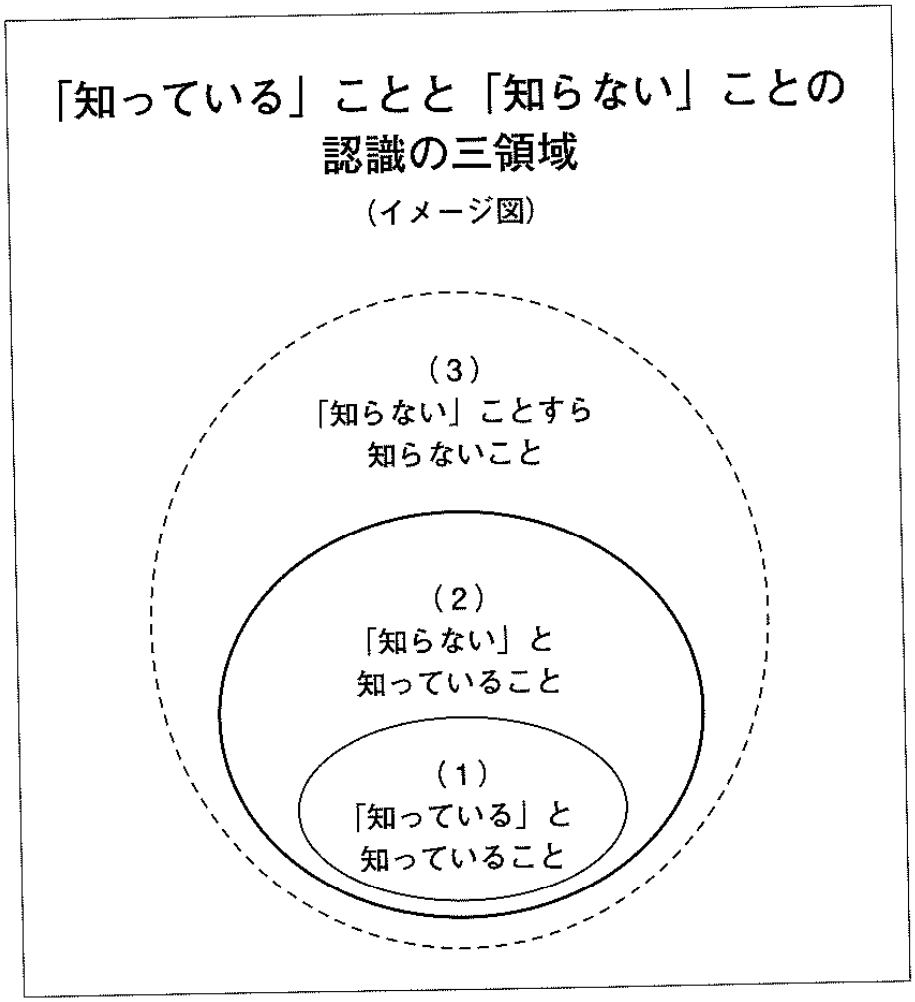


（表西恵『アメリカ人は気軽に精神科医に行く』ワニブックス　を参考に作成）

5番

先生が授業で，認識の三つの領域について話しています。この先生が重要だと言っているのは，どうすることですか。

5



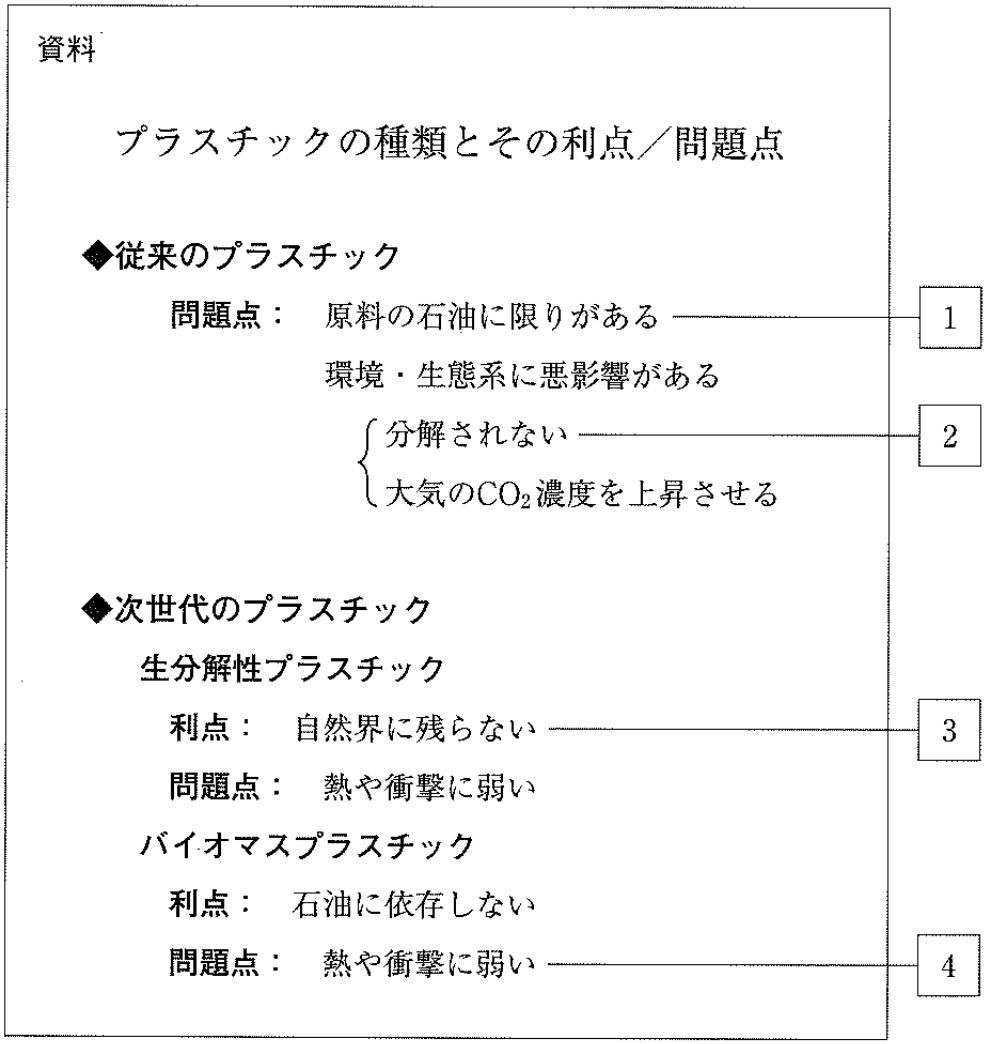
（細谷功『考える練習帳』ダイヤモンド社　を参考に作成）

1．（1）を（2）にすること
2．（1）を（3）にすること
3．（2）を（1）にすること
4．（3）を（2）にすること

6番

先生が授業で，プラスチックについて話しています。この先生が，このあと詳しく取り上げることは，資料のどの部分と関係がありますか。 **6**

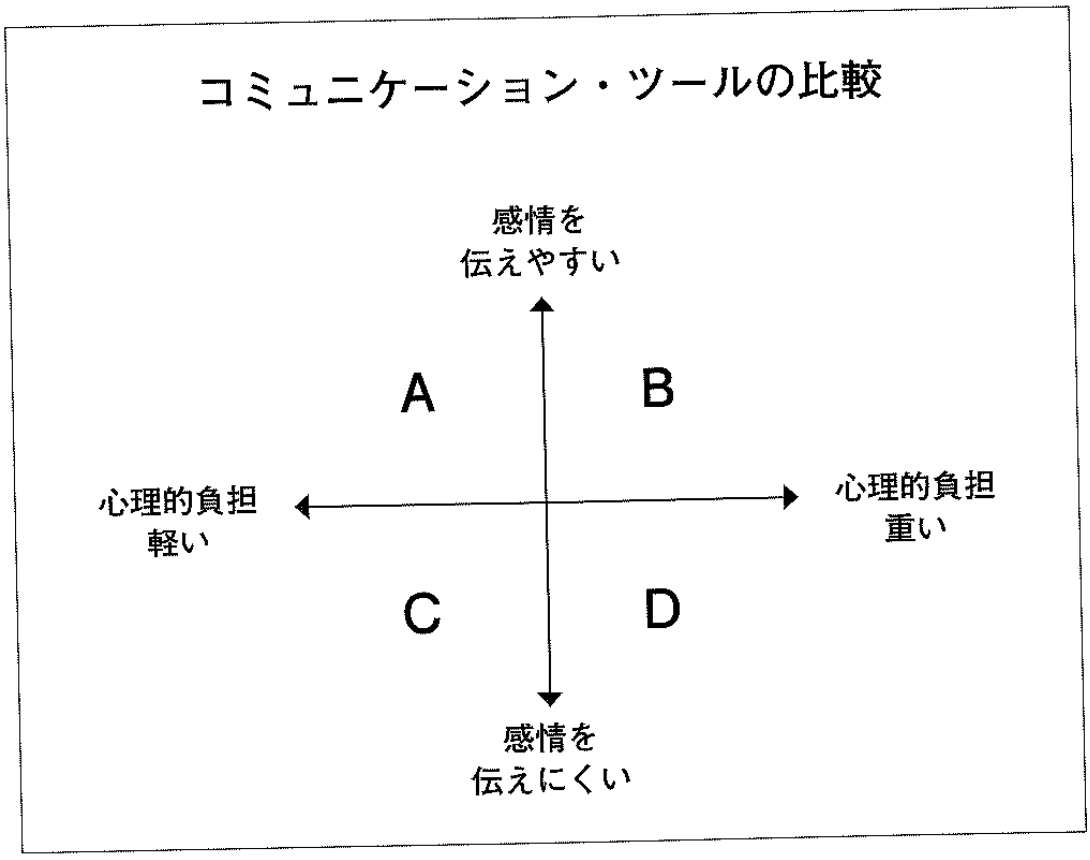
資料



（神田明美「バイオプラスチック」朝日新聞2015年４月11日土曜版／経済産業省ホームページ　を参考に作成）

7番

先生が，コミュニケーション・ツールについて話しています。この先生が最後に話している新しいツールは，図のどの部分に位置しますか。 7

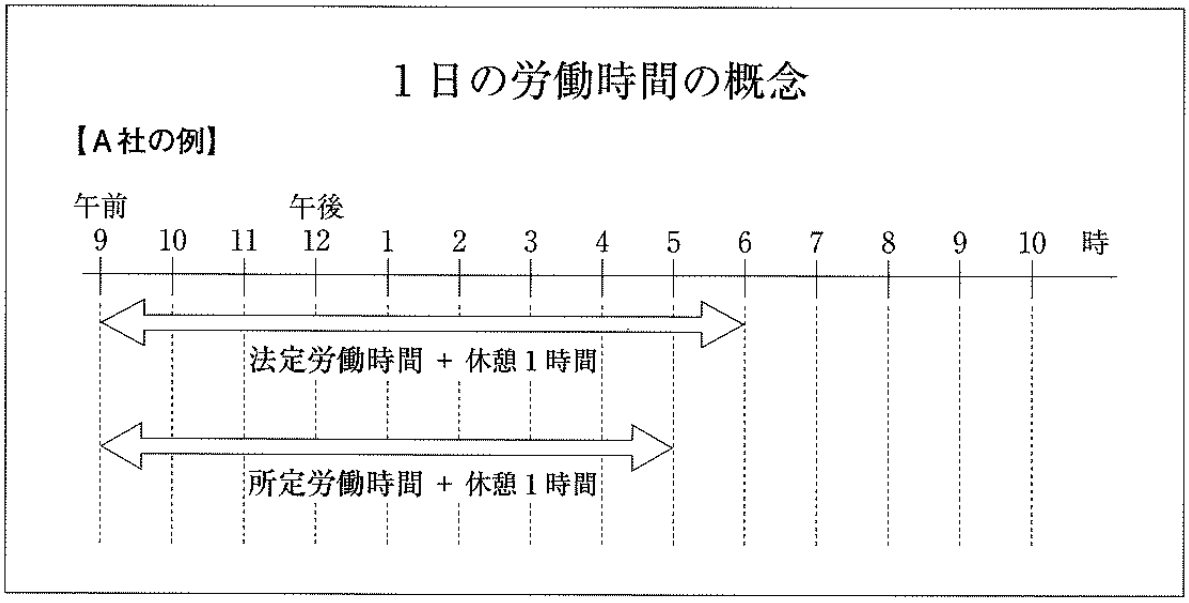


（岡田達也「非接触を乗り切る新常識　アバターは本当の自分？」
日経BP『日経ビジネス』2079号　を参考に作成）

1．A
2．B
3．C
4．D

8番

先生が，労働時間について話しています。この先生が最後に挙げる例についてする質問の答えはどれですか。 **8**



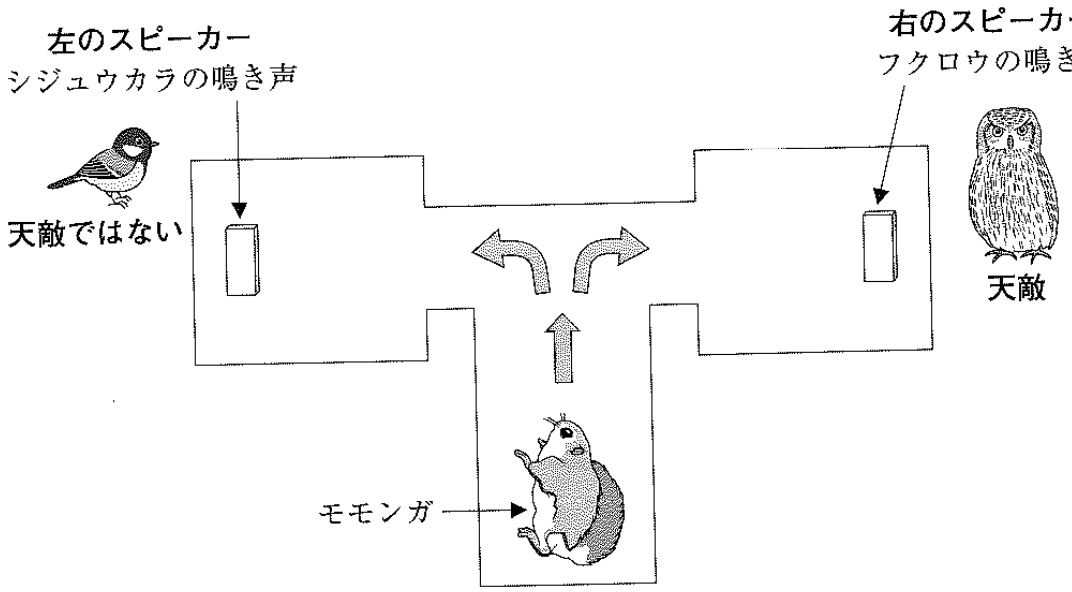
（金野美奈子「第8章　働く時間と個人の時間」
小川慎一他『「働くこと」を社会学する　産業・労働社会学』有斐閣　を参考に作成）

1．1時間
2．2時間
3．3時間
4．7時間

9番

先生が授業で，モモンガという動物を使った実験について話しています。この先生が話す実験結果の①から④について，正しく表した組合せはどれですか。 **9**

《モモンガの実験装置》



《実験結果》

フクロウの声に対する反応

	1～3回目の実験で使った2匹のモモンガ	3回目の実験だけで使った2匹のモモンガ
1回目	①	
2回目	②	
3回目	③	④

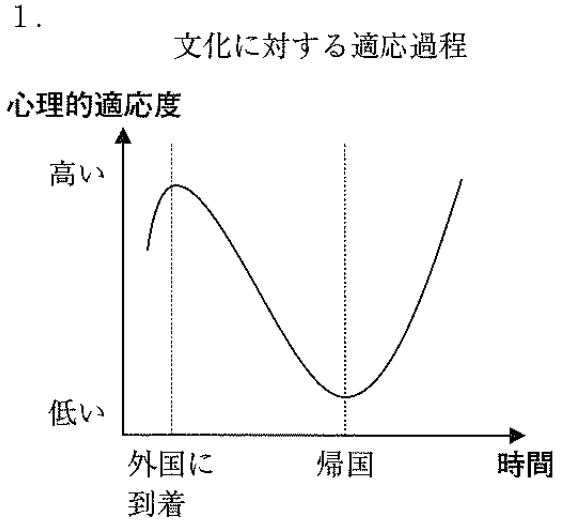
（小林朋道『先生，モモンガがお尻でフクロウを脅しています？』築地書館　を参考に作成）

1．① 避けない　② 避けない　③ 避ける　④ 避けない
2．① 避けない　② 避けない　③ 避ける　④ 避ける
3．① 避けない　② 避ける　③ 避ける　④ 避ける
4．① 避ける　② 避ける　③ 避ける　④ 避ける

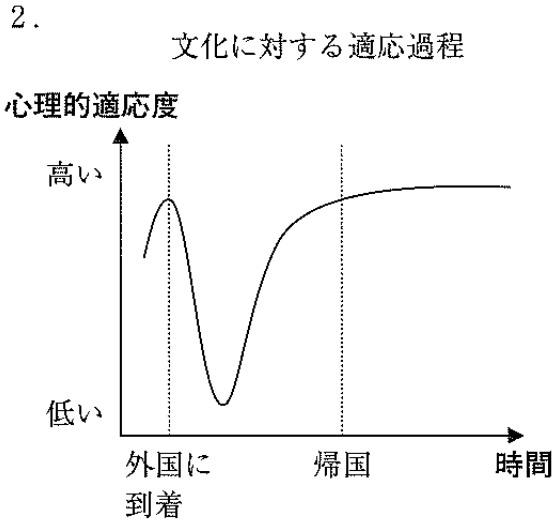
10番

先生が，コミュニケーションの授業で異文化適応について話しています。この先生の説明にしたがって心理的な適応度の変化を図にすると，どうなりますか。 **10**

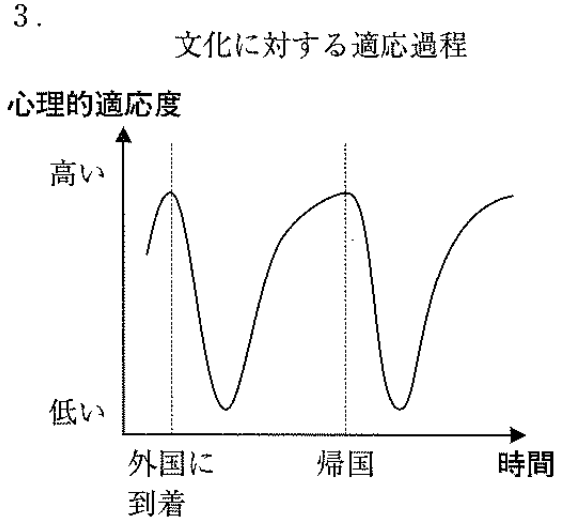
1．



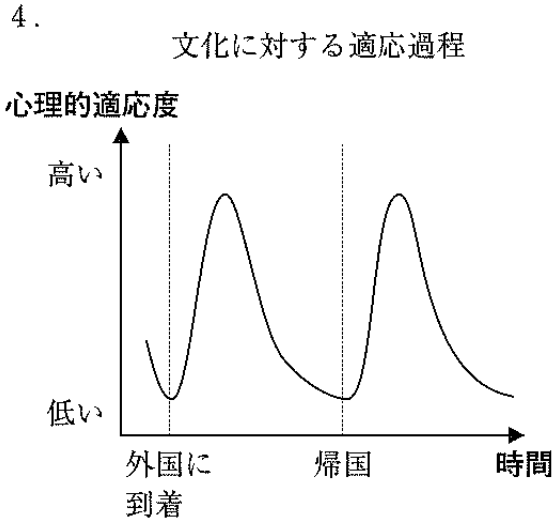
2．



3．



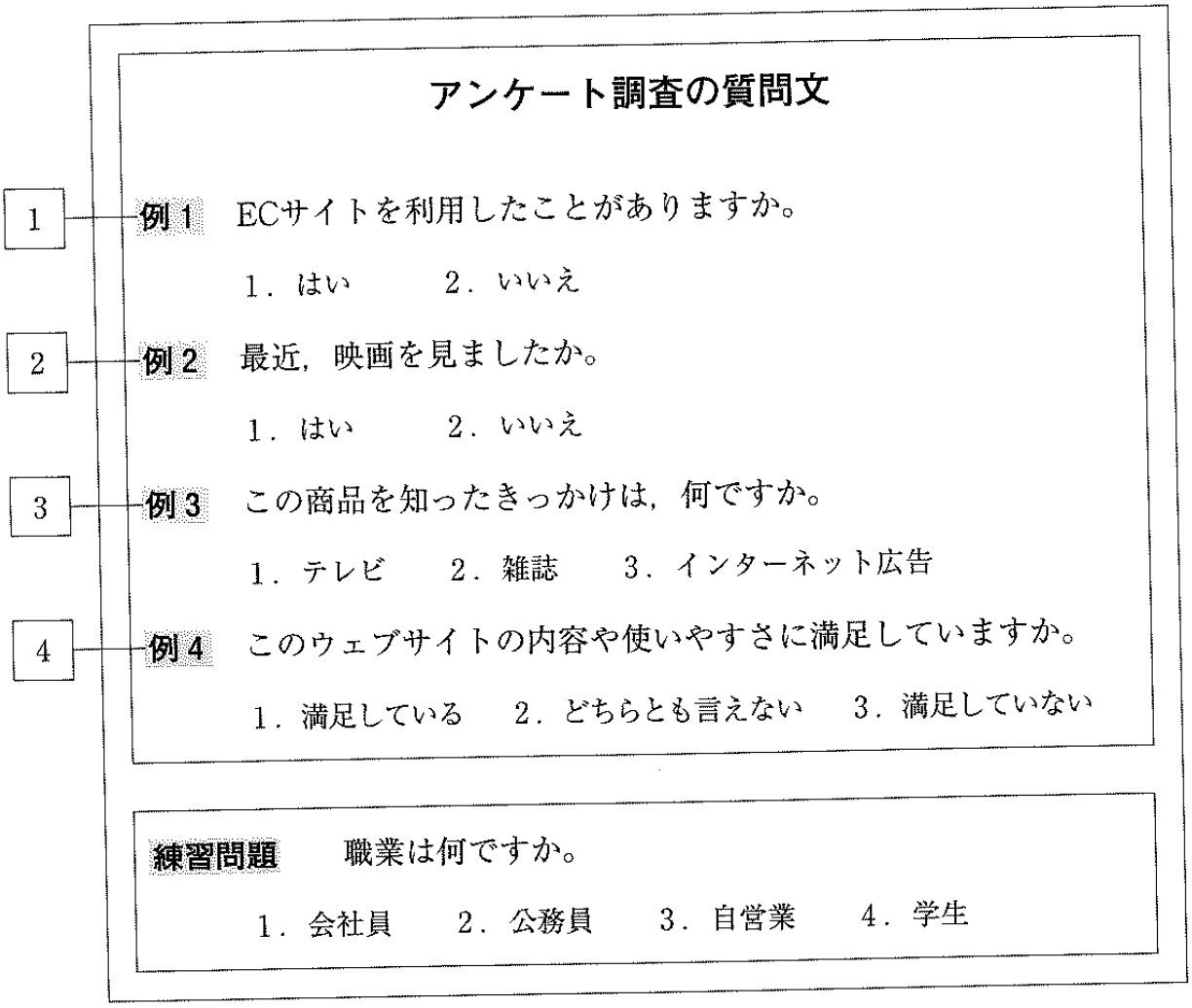
4．



（原沢伊都夫『異文化理解入門』研究社　を参考に作成）

11番

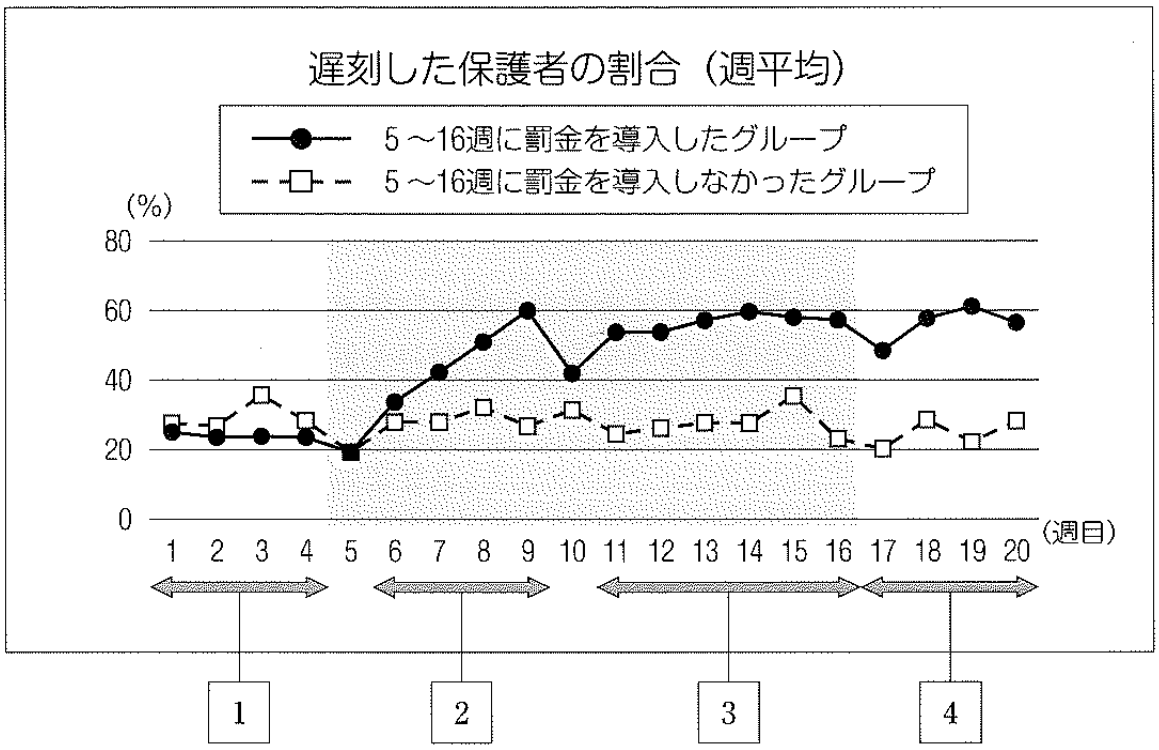
先生が，アンケート調査の質問文について解説しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。 **11**



（ネオマーケティング「リサーチの苦労が水の泡…じゃ悲しすぎる！初めてのアンケート作成，成功に導く４つの作り方ポイント」
https://column.neo-m.jp/column/marketing-research/-/2321　を参考に作成）

12番

女子学生と男子学生が，ある実験の結果について話しています。この男子学生が意外だと言っているのは，グラフのどの期間についてですか。 **12**



（Uri Gneezy et al.「A Fine is a Price」*The Journal of Legal Studies* vol.29 No.1　を参考に作成）

――― このページには問題はありません。―――

聴解問題

説明

聴解問題は，音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には，何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに，メモ用のページが３ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には，『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢１，２，３，４の一つ一つを聴くごとに，正しいか正しくないか，マークしてください。正しい答えは一つです。

一度，練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

－ メ　モ －